

Motorsport News

International Edition — N°3 June 2023



撮影：夏目健司

日本

左村 英祐

鈴鹿8耐の切符をつかむ

波乱のレース展開にもかかわらず、FUCHSライダー左村 英祐は卓越したパフォーマンスにより、鈴鹿8耐への出場権を獲得した。// 2 ページ目

オーストリア

FUCHSライダーに栄光の1日

記録破りのアンドレアス・ガングルがスーパーバイククラスで総合優勝。マニュエル・シュラインドルフーバーは、FUCHS Silkolene Berg EM Motorrad Bergrennen Landshaagのスーパーストック1000とスーパーバイクの両クラスで6位に入った。// 3 ページ目



イタリア

マイケル・ダンロップ優勝 2023 TT Isle of Man Trophy

予選と決勝の両方で圧倒的な強さを見せたマイケル・ダンロップは、スーパーツイン・カテゴリーで24回目の優勝を飾り、この名誉あるトロフィーの歴史において2番目に成功したライダーとしての地位を固めた。// 12 ページ目



日本

鈴鹿8耐出場への見事な追い上げ

FIM世界耐久選手権の最高峰に位置づけられる鈴鹿8時間耐久ロードレース。

5月に開催された鈴鹿サンデーロードレース第2戦JSB1000決勝では、プライベートチームTri Point & Factory HIRO FUCHS Silkolene実力派ライダー左村 英祐が悲願の鈴鹿8耐への切符を手にした。

レースは地方大会にもかかわらず、全国大会に出場するライダーが集まり、ハイレベルな戦いが繰り広げられた。左村選手も他チームの猛追を受け、ペースについていけず予選は29位でフィニッシュした。

左村選手はスズキGSX-R1000Rで参戦。FUCHS Silkolene PRO 4 PLUS 5W-40の性能に厚い信頼を寄せる。「フックスのシルコリンは安心して使用することができます。レース終了後にエンジンを開けた時のエンジン内部の綺麗さには驚かされます。シルコリンオイルによってエンジンがダメージを受けずにしっかりと守られているのが分かります。今はパワーの出しやすい低粘度オイルが人気ですが、トラブルフリーに勝るものはありません」マシンの性能も全国級に充分対抗できるものだと言え、あとは積年の経験を発揮するのみだった。

決勝戦のレースは、2周目にライダー同士が接触し炎が舞う衝撃的なアクシデントが起こり波乱の展開となった。一時中断の後、残り周でレースは再開されたが、さらに2度の転倒事故が発生。この混乱のなか、左村選手は冷静さを失わず、巧みにコースを駆け抜けた。「コーナーでの突っ込みが上手く行きました。最後までバテることなく走りぬくことができて良かったです」最終順位は15位。予選の29位から怒涛の追い上げを見せて8耐出場権を勝ち取った。

モータースポーツファン待望のスリリングな鈴鹿8耐は、8月に開催される。

撮影：夏目健司

左村 英祐選手とフックスジャパンのメンバー





フラワーセレモニー出席者。左からマウリツィオ・ボッタリコ（3位）、アンドレアス・ガングル（1位）、ステファノ・ボネッティ（2位）



左から マルクス・コレンツとドゥカティ・ザルツブルグCEOのヘリベルト・ブラウンバート

オーストリア

FUCHS、セント・マーティンで快勝

FUCHS Austriaは、2014年以来、FUCHS Silkolene Berg EM Motorrad Bergrennen Landshaag - St.Martin イベントの主要スポンサーを務めている。今年で42回目を迎えるこの爽快なヨーロッパ山岳レースは、MSCロツネグが主催し、様々な国から約250名のライダーが参加した。

メインロードの平均時速は最高186km、ランツアークとザンクト・マルティンを結ぶ山道の一部区間では時速300kmを超え、ドライバーたちは2回のスリリングな走行で1万人以上の観客を魅了した。

オーストリアのライダー、アンドレアス・ガングルの2016年のレコード、1分10秒932、平均時速186.20kmは破られていない。2023年のスーパーバイク総合クラスに参戦したガングルは文句なしのチャンピオンに輝き、FUCHSライダーのマニエル・シュラインドルファーはスーパーストック1000とスーパーバイクの両クラスで成功を収めた。さらに、同じくFUCHSの才能あるライダーであるトニ・レヒベルガーは、スーパーストック1000クラスで100回目のヒルクライムを果たした。

FUCHSオーストリアは、パドックエリアに印象的なブースを出展し、2023年のFIMアイススピードウェイ・グラディエーターズ世界副チャンピオンのフランキー・ゾーンら著名なゲストを魅了した。2023年FIMアイススピードウェイ・グラディエーター世界副チャンピオンヘリベルト・ブラウンバートCEOを擁するドゥカティ・ザルツブルグなどの重要な顧客も来訪、イベントの威信をさらに高めた。フラワーセレモニーでは、各クラスの上位3名にFUCHS Silkolene製品の特別パッケージが授与され、FUCHSのアプリケーションエンジニアリング部門責任者であるマルクス・コレンツ氏より贈呈された。



左からフランキー・ゾーン、フランツ・オルトナー（FUCHS自動車営業部）、マルクス・コレンツ（FUCHSアプリケーションエンジニアリング部長）





ドイツ

ハンコック12hスパ・フランコルシャンでブラック・ファルコンが表彰台に迫る

ブラック・ファルコンチームは、24Hシリーズのハンコック12hスパ・フランコルシャンでそのレース力を披露した。2台のポルシェ992 GT3カップが992-AMクラスのスタートラインに並び、風光明媚なベルギー・アルデンヌ地方で全長7,004kmの困難な山と谷のレーストラックに挑んだ。

919号車には、アメリカの新鋭マット・ケーホーとトム・ロバーツ、そしてカレラカップ・プロアマのレコードチャンピオンであるカルロス・リバスという強力な布陣が加わった。レースは嵐のような雨の中、ポルシェがグラベルにスリップして数周を失うという混乱したスタートとなった。それでもチームは奮闘し、上位に食い込んだ。12時間に及ぶ過酷なレースの末、最終ドライバーのケーホーはクラス4位という素晴らしい成績でフィニッシュラインを通過した。

一方、920号車はアレックス・ベーム、アクセル・ケーニッヒ、アクセル・サルティンゲン、ノルベルト・シュナイダーがコックピットを共有した。デブリによるパンクなどの逆境に直面しながらも、チームがめげることはなかった。4人のドライバー全員がサーキットへの熱意を語り、このハイクオリティなイベントを賞賛した。そして見事、クラス7位でフィニッシュラインを通過した。

ブラック・ファルコンのチーム代表であり、920号車のドライバーであるアレクサンダー・ベームは、チームのパフォーマンスを振り返って次のようにコメントした。「惜しくも表彰台を逃しましたが、非常に満足しています。砂利へのダイブがなければ、919号車はクラス2位を確保できていたでしょう。920号車のドライバーたちは、このような厳しいコンディションの中で、素晴らしい技術を披露してくれました。新しいドライバーたちはチームに完璧に溶け込み、すでに今後のレースを一緒に計画しています。全ドライバーが、2024年のスパ・フランコルシャン12時間レースでの再戦を熱望しています」

ブラック・ファルコンの果敢な努力と力強いチームワークは、彼らのあくなき向上心を示すものであり、要求の厳しいスパ・フランコルシャン・サーキットで忘れがたい印象を残した。





南アフリカ

ダコタ・グロッペラーの勇敢なパフォーマンス —SAモトクロス選手権

FUCHSライダーのダコタ・グロッペラーは、サンダーバレーで開催されたSAモトクロス選手権第4戦に出場。肩の骨折、靱帯の断裂、神経損傷を負いながらも、グロッペラーはベストを尽くす決意を固めた。

両ヒートとも、痛みを押して見事なパフォーマンスを見せた。レース終了後、グロッペラーは総合5位に入り、チャンピオンシップの貴重なポイントを獲得した。

レーススケジュール: 7月 ゲベルハ

FUCHS製品: Silkolene PRO 4 XP 10W-40, Silkolene FOAM FILTER OIL, Silkolene WASH OFF, Silkolene CARB AND INJECTOR CLEANER



南アフリカ

サンダーキャット・ナショナルズでの危機一髪

サンダーキャット・ナショナルズの第2戦が、波の大きいことで有名なブルーバーク・ストランドで2日間にわたって開催された。FUCHSドライバーのマルク・グリードとコ・ドライバーのハーマン・エラスムスは、モディファイド・クラスに出場した。「ヒート1ではポールポジション争いがあったものの、好スタートを切ることができ、快適な3番手につけて最後までポジションをキープした。波を正確に読み、計算されたリスクを取ることが、サーフイベントでの成功の鍵だ」とマルクはコメントした。

第2ヒートが始まると、波もショアブレイクも激しさを増した。「フラッグが下がる中、私たちは安全なゲッタウェイをし、十分なエアーをキャッチしながら波間を走り抜けた。しかし、ターンブイを航行中に他のチームと接触し、激しいバレルロールとなったことで、我々の努力は泡となった。残念ながら、このアクシデントで私たちの週末は終わってしまった」

「FUCHSの貴重なサポートに非常に感謝しています。FUCHS Silkolene PRO 2とFUCHS G70の卓越した保護性能のおかげで、海水に完全に浸かったにもかかわらず、我々のレースエンジンにダメージがなかったことは何より救いです」

FUCHS製品: Silkolene PRO 2, Silkolene PRO SRG 75, Silkolene PRO PREP, Silkolene WASH OFF, Silkolene ENGINE CLEANER, Silkolene CARB CLEANER

南アフリカ

イアン・ラールが表彰台を獲得 —GXCC選手権

FUCHSライダーのイアン・ラールは、GXCC選手権第2戦で並外れた走りを見せた。「スタートは好調で、難易度の高い迷路をうまく抜け、3番手を確保した。スムーズなライディングを維持し、いいパスも決めて上位に食い込んだ」

最終的にイアンはクラス2位、総合2位という素晴らしい成績を収めた。



南アフリカ

ジェイミー・ベリーにとって有望なシーズン

4月にウェスタンケープ・オフロードクラブで開催されたジュニア85ccクラスで1位を獲得したFUCHSライダー、ジェイミー・ベリーは、第2戦でも表彰台を獲得した。「トップでスタートし、1周目にすぐにギャップを築いた。そのギャップが十分なものになるまで力強いプッシュを続けたので、無理をすることなく快適な最終ラップを迎えることができた」

数日後、ジェイミーはWCOCのレースに並んだ。「スタート直後からペースは激しく、ストレートでは時速100kmにも達した。翌日のレースのためにバイクを温存しながら、全力を尽くさなければならぬ難解なレースだった。最終的にはジュニア85ccクラスで1位を獲得した」

2日目はさらに大きなチャレンジが待っていた。「最初から、僕のマシンはストレートでトップスピードに達することができなかった。何かがおかしかった。ほかの選手に抜かれ、追いつくのに必死だった。気がつくやうに4番手まで落ちていた。決意して集中し、自分を限界まで追い込んで総合2位でフィニッシュした。精神的にも非常に厳しい戦いだった。」

南アフリカ

待望のカムバック

2022年に負傷したジェイデン・プロクターが、2023年シーズン第3戦でMSA MXナショナル・チャンピオンシップへの復帰を果たした。このイベントは5月にブルームフォンテン・モトクロス・トラックで開催された。半年間のレース欠場にもかかわらず、ジェイデンはMX1、MX2両クラスで総合6位を獲得した。これらのレースは体力を回復させるために非常に重要であり、ジェイデンは数週間後にテザ・モトクロス・トラックで開催される次のレースでの好成績に期待を寄せている。

**FUCHS製品: Silkolene MAINTAIN FOAM
FILTER OIL, Silkolene PRO 4 10W-30,
Silkolene PRO CHAIN, Silkolene TITANIUM
CHAIN LUBE**





南アフリカ

フォーゲレサングが2つの1位を獲得

SA MXナショナル選手権の第4戦がピーテルマリッツバーグのサンダーバレーMXで開催された。コースは硬く滑りやすい路面で、ライダーたちのスキルが試される。ヨハン・フォーゲレサングはプラクティス・セッションで新しいコースに慣れた。第1レースは3番手からスタートし、8位でフィニッシュした。

第2レースではランキングを上げ、ポイントランキングで総合5位を獲得した。「今年後半にケープタウンで開催されるアフリカ・ネーションズ・チームのSA MX1チームに選ばれたことに興奮している。南アフリカの地で開催される初めてのMXOANで、ケープタウンのZone 7 MXほど適した場所はない。今シーズンの残りの目標は、レベルアップを続け、より競争力のあるレースで結果を残し、最終的にはチャンピオンシップポイントをしっかり積み上げることだ」

ヨハンはまだ、ブルームフォンテンで開催されるフリーステイト&ノーザンケープ・ウォムザ地域選手権の第2戦にも出走する。これらの地域レースは、ゲートドロップとMXナショナルに向けた準備のために非常に重要である。数名のナショナルライダーが参加する中、ヨハンは序盤からプレッシャーを感じていた。第1レースでは僅差でホールショットを奪い、終始リード。第2レースも好スタートを切って1位でゴールした。「MXエキスパート・クラスで2勝を挙げ、第3戦に向けてチャンピオンシップ・ポイントのリードを広げることができました」

FUCHS製品: Silkolene PRO 4 10W-60 XP, Silkolene TITANIUM DRY LUBE, Silkolene FOAM FILTER OIL, Silkolene FOAM FILTER CLEANER, Silkolene PRO BOOST, Silkolene WASH OFF

南アフリカ

ルー・ファミリー、トップ5に輝く

9歳のジョー・ルーと父親のマイケルが、フォーミュラKレースウェイで開催されたSAショートサーキット・シリーズ(SASCS)第3戦に出場した。

ジョーは50ccスーパーモトクラスで総合4位となった。また、彼にとって新しいクラスである65ccスーパーモトクラスにも出場し、実戦を繰り広げた。新しいバイクでの3戦目で総合4位に入り、ライダー・オブ・ザ・デイ賞を獲得した。熾烈な戦いが繰り広げられただけに、これは大きな成果だ。

マイケルは450 SM1Sクラスに参加し、メインレースに加わって2位でフィニッシュした。「腕のパンプがひどく、手の感覚がなくバイクをうまくコントロールできなかった」とマイケルは語る。





オーストラリア

ウィンターボトム、タスマニア・スーパースプリントで8位入賞

チーム18のドライバー、マーク・ウィンターボトムは、ネッド・ウイスキー・タスマニア・スーパースプリントの最終レースで8位入賞を果たし、週末を前向きに締めくくった。

DEWALTレーシングのウィンターボトムは、予選で15番手と10番手につけ、第11戦と第12戦に挑んだ。ウィンターボトムは各レースで13位、8位と順位を上げ、最終レース終盤には印象的なオーバーテイクを決めてトップ10入りを果たした。

「厳しい週末だった。ポジティブなことは、総合10位以内でフィニッシュできたことだ。やるべきことがあるのは間違いない。しかし、次のダーウィンを心待ちにしている。もっとうまくやる必要があることは分かっているが、ひとまず10位以内という結果を喜ぶたい」

チーム18は、ヒドゥン・バレー・レースウェイで開催されるダーウィン・トリプル・クラウンで、スーパーカーのインディジュナス・ラウンドに復帰する。

FUCHS製品: TITAN RACE SYN 20, TITAN CYTRAC TD 75W-90



ポルトガル

FUCHSチームのダブル優勝

ポルティマン（アルガルヴェ）の素晴らしいサーキットで2度の3位入賞でシーズンをスタートさせたガラジェム・オーロラ・チームのドライバー、マリオ・メイレスとヴァスコ・ニーナは、ポルシェ911 2.8 RSRでイベリア・ヒストリック耐久レースの第2戦に臨んだ。このイベントはグランプリ・ヒストリック・ド・ポと呼ばれ、フランスで開催された。

アルガルヴェでの好結果に意欲を燃やしたふたりは、予選でポールポジションを獲得し、完璧な週末の幕開けを飾った。

彼らは2つの総合優勝を獲得し、45分間の両レースでファステストラップを記録し、ドライバーとポルシェの "勝者がすべてを手にする" とでも言うようなパフォーマンスが印象的だった。

ガラジェム・アウロラが用意したポルシェ911 2.8 RSRは非の打ちどころがなく、ポルトのチームは名車と名ドライバーがひしめくコンペティションでこのような素晴らしい結果を残すことができた。

次のレースは、7月に開催されるハラマ・クラシックである。



ポルトガル

FUCHS Silkoleneがトゥオーノ・カップ・トロフィーとS1000Rカップに協賛

ネイキッドバイク選手権（通称TNB）は、2020年からポルトガル国内選手権（CNVモト）の一部となり、バイクブランドによって異なるトロフィーで構成されている。2022年、TNBレースはポルトガル選手権を構成する11カテゴリーの中で2番目に参加者が多かった。

2023年には、BMWのバイクをベースとしたS1000RカップトロフィーとApriliaのバイクをベースとしたトゥオーノカップトロフィーに加え、新たにトライアンフのバイクをベースとしたトリプルカップトロフィーが加わる。これら3つのトロフィーのスポンサーはFUCHS Silkoleneである。

BMWとApriliaのライダーはFUCHS Silkolene PRO 4 5W-40 XPを、トライアンフのライダーはFUCHS Silkolene PRO 4 10W-40 XPを使用。エンジンオイルに加え、すべてのバイクはFUCHS Silkolene 02 Synthetic、FUCHS Silkolene ALL-IN-ONE、FUCHS Silkolene PRO CHAIN、FUCHS Silkolene BRAKE AND CHAIN CLEANERでメンテナンスされる。「過酷なレースコンディションにおける当社製品の品質を証明し、非常に良いアピールとなりました」と、FUCHSマーケティング&コミュニケーション担当のマリア・モレイラは語った。

シーズンはエストリルサーキットで開幕し、BMWライダーが初優勝を飾った。第2戦は、モトGP愛好家にとって特別なサーキットであり、今年唯一のポルトガル国外のレースであるヘレス・アンヘル・ニエト・サーキットで開催された。トライアンフのルーキー、フレデリック・ボットグリエリは、ポールポジションを獲得し、両レースで優勝するという素晴らしい週末を過ごした。





タンザニア

2023年最初の表彰台 FUCHS TITANラリーチーム

FUCHSチームは今シーズン、才能あるドライバー、マンヴェール・ビルディを迎えることができた。タンザニア国内外での豊富なラリー経験を持つマンヴェールは、その見事なドライビング・スキルで根強いファンを獲得している。

FUCHSタンザニアのマーケティング・エグゼクティブ、フランク・ンゴビレは、次のように語った：「マンヴェールは最高のドライバーの一人であり、ラリーのレジェンドだ。我々は彼のスキルに全幅の信頼を寄せており、彼が我々のチームで輝くのを待っている。マンヴェールのライドで、今年は壮大に盛り上がることでしょう」

シーズンはイリンガ地方で始まり、マンヴェール・ビルディとコ・ドライバーのラビ・チャナが三菱ランサーエボリューション9を走行。難題を難なく克服し、わずか5戦で見事な表彰台を獲得した。

チーム・マネージャーのデジンダー・バラはこう語った：「荒れたコンディションとマシンの小さな不具合に直面したが、決してあきらめなかった。最後まで懸命に戦い、この素晴らしい結果を出せた。次のレースへの活力となり、さらに良い結果を残せると確信している」

マンヴェール・ビルディは言った：「競争はタフだったが、FUCHSタンザニアの素晴らしいサポートと技術には感謝している」

ラリー競技はタンザニアで絶大な人気を誇り、国中から集まったチームの目覚ましいパフォーマンスを目撃するために何千人もの観客が集まる。エキサイティングなシーズンになること間違いなさだろう。



イタリア

マイケル・ダンロップに拍手

FUCHSイタリアは、2023年のTT Isle of Manトロフィーで初めてモト・パトンのスポンサーとなった。ライダーはマイケル・ダンロップ。レーシングバイクを生産するイタリアのファクトリーであるパトンは、2017年、2018年、2019年にTT Isle of Manで勝利を掲げている。ちなみに、2018年はマイケル・ダンロップが優勝し、3位ラッター、4位ボネッティ、5位トンプソン、6位ルーガーと、トップ6のうち5台ものバイクがパトンによるものだ。

今年、スーパーストックとスーパーツインの予選を制したマイケルは、この荣誉あるトロフィーのスーパーツイン・レースで24回目の優勝を飾った。SCプロジェクト・パトンに乗る彼は、レースを終始リードし、ライバルのマイク・ブラウン（RKレーシング・パトン）に20秒以上の差をつけてチェッカーを受けた。この快挙により、ダンロップはTT Isle of Manツーリスト・トロフィー史上2番目に勝利数の多いライダーとなり、叔父のジョーイ・ダンロップが持つ通算26勝の記録にあと2勝と迫った。

スーパーツイン・クラスは、ロードバイクから派生した700ccの2気筒マシンがレーシングマシンに生まれ変わったもの。スーパーツインはTTに追加された最新のマシンで、約90馬力を発生する。このカテゴリーでは、マシンのパワーと重量が軽減されているため、ハンドリングには最高の技巧が要求される。



イタリア

FUCHSロゴ、認知度向上

FUCHSイタリアは、世界トップクラスのバレーボールクラブであるモデナ・バレー（バルサ・グループ・モデナ）とのパートナーシップ締結。1966年に設立されたこのクラブは、これまでに42ものトロフィーを獲得している。

「FUCHSのロゴは、全試合中、モデナ・スポーツの会場に大きく掲示されました。このスポンサーシップは、自動車分野でFUCHS製品の重要な販売代理店であるパートナー、F.lli Gibertiniのおかげです。この非常に人気のあるスポーツは、1試合あたり5,200人以上の観客を魅了します」とFUCHSのプロダクト＆マーケティングマネージャーであるルイジ・ディ・トロは述べた。



イギリス

FUCHSライダーたちの 数々の表彰台

5月にドニントンパークで開催されたベネツ・プリティッシュ・スーパーバイク選手権の第3戦で、FUCHS Silkoleneがサポートするライダーたちが再び勝利を飾った。

FUCHS Silkoleneのライダーたちは、週末を通してスーパーバイクの9つの表彰台のうち7つをも獲得した。

OMGレーシングを代表するライアン・ヴィッカーズは、今シーズン初のトロフィーを手にした。しかし、イベントのハイライトは、FUCHS Silkoleneの完全表彰台で締めくくられたスーパーバイク第3レースであった。カイル・ライドが優勝し、ピアモンスター・ドゥカティのライダーであるトミー・プライドウェルとグレン・アーウィンがそれぞれ2位と3位を獲得した。

FUCHS Silkoleneのライダーたちは、サポート選手権でも表彰台を獲得。スーパースポーツ第2レースでは、ギアリンク・カワサキのトム・ブース＝アモスが6.6秒のリードを築いてトップに立った。一方、アーロン・シルベスター（A&Jレーシング）は、ピレリ・ジュニア・スーパースポーツで再び表彰台を獲得。

次戦はスコットランドのノックヒル・レーシング・サーキットで開催される。





イギリス

2023年BTCC初表彰台 トヨタ・ガズーレーシング

FUCHSがスポンサーするトヨタ・ガズー・レーシングUKは、ドニントン・パークで開催された2023年イギリス・ツーリングカー選手権の幕開けを、ポイントを獲得するフィニッシュで飾った。ローリー・ブッチャー、リッキー・コラード、ジョージ・ギャンプルは、ウェットコンディションにもかかわらず、トヨタ・カロラの速さを見せつけた。レース1では、3人のFUCHSドライバー全員が11位以内でフィニッシュし、決勝戦へのポイントを獲得した。第2レースでは、ギャンプルが3番手争いでコースアウトを喫するまでトップをキープ。最終レースでは、さらに3人のドライバーが入賞を果たした。

ブランズハッチで行われた第2戦では、ドライバーたちは最初の2レースでトップ10フィニッシュを果たした。最終レースではコラードがこれまでのBTCCキャリアで最高のパフォーマンスを発揮、3度のタイトル獲得を誇るアッシュ・サットンを抑えてチェッカーを受けた。

スネッタートンで開催された第3戦では、ドライバーたちが揃って上位入賞を果たした。ハイライトは、ローリー・ブッチャーが最終戦で2位に入り、チームにとって2023年最初の表彰台を獲得したことだ。素晴らしいタイヤチョイスで2位に浮上したローリーは、その後3位に後退した。2位でゴールしたダン・カミッシュはその後、車高が規定に満たしておらず失格となり、ローリーが2位に浮上した。

スラクストンでの第4戦では、ローリーが3度の7位入賞を果たすと、リッキーは最終戦で5位入賞を果たし、マニファクチャラー・トロフィーを獲得した。

チームは現在、チーム総合ランキング4位となっている。



イギリス

チュティルがBHRC最後の勝利で平原を制す

FUCHS LUBRICANTSブリティッシュ・ヒストリック・ラリー選手権（BHRC）の第3戦、プレインズ・ラリーでクルーたちは壮大なスノードニア国立公園に集結した。

ポルシェ911ドライバーのリチャード・トゥーシルは、2007年以来となるFUCHS LUBRICANTS BHRCでの勝利を、イベントの最終ステージで掴み取った。コ・ドライバーのデール・ファーンリスとともに、マーティ・マコーマック、バーニー・ミッチェルと激しいトップ争いを繰り広げ、最後の短いランガワー・ステージを同タイムで迎えた。

しかし、接戦を制したのはトゥーティルで、2秒速いタイムを叩き出し、2007年にIsle of Man lanesでマコーマックと同じようなバトルを繰り広げて以来のBHRC優勝を飾った。北ウェールズの過酷なグラベルでの戦いで歴史は繰り返された。

2人のドライバーは終日、5秒以上の差をつけることはなく、8つのステージでトップが3度入れ替わった。最後には、最終ステージでトゥーティルが優勝した。

ニック・エリオットとデイブ・プライスは、厳しいステージをフィアット131アバルトで駆け抜け、チャンピオンシップ・リーダーのロジャー・チルマンとパトリック・ウォルシュとポジション争いを繰り広げた。しかし、最終ステージでチルマンがリタイアしたため、エリオットが4位でFIAカテゴリー1号車を獲得。この結果、エリオットはチャンピオンシップをリードすることになった。

選手権第4戦のツール・オブ・エピントは7月に開催される。

